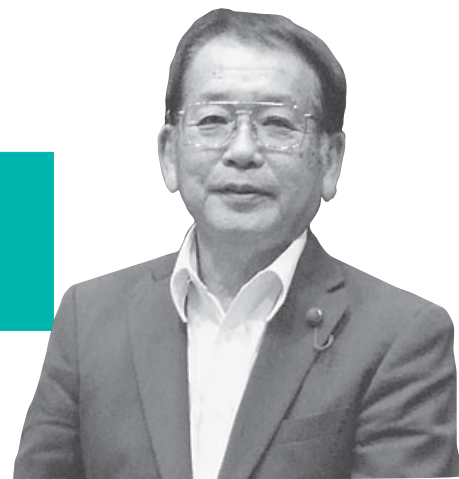


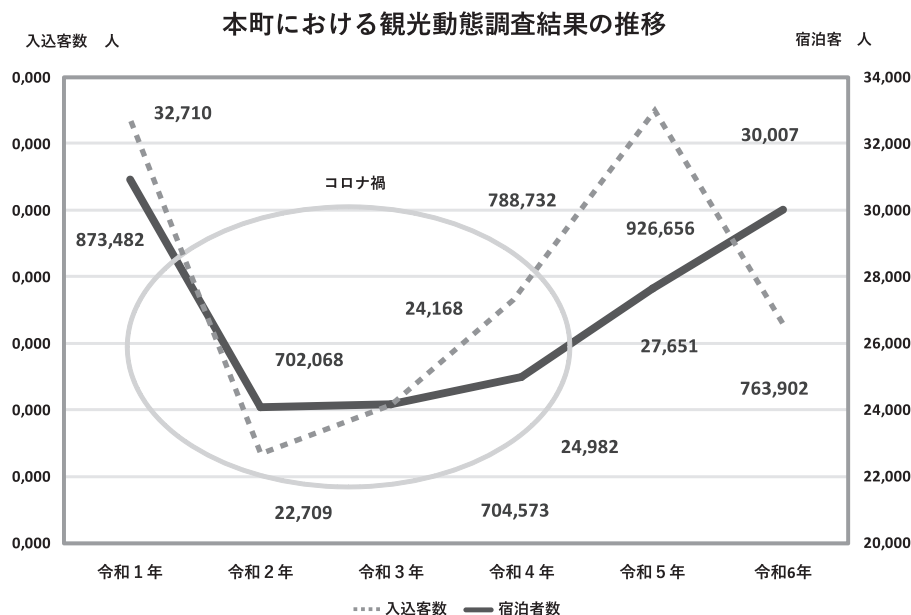


うちだ ひろのり 議員
内田 裕紀

質問

観光施策の財源に宿泊税を

町長 宿泊業者と検討していく



質問 平成28年に日本遺産に認定され、令和元年に日本農業遺産、そしてこの度「たたら製鉄を再適用した奥出雲地域の持続可能な水管理及び農林畜産システム」

として世界農業遺産の認定を受けた。期待される効果の一つに世界に誇れる地域資源を活用し、仁多米等農産物のさらなるブランド化、そして視察も含め観光客

町長 今後、観光振興の財源は必要だ。宿泊業者と相談、検討していく。

質問 インバウンドを含め、世界農業遺産の認定による効果を考慮すると、かなりの宿泊者の増が見込まれる。自主財源の乏しい本町にとって新たな観光振興の財源として宿泊税を導入する考えは。

町長 コースについては最終調整をしながら、今後ホームページ等へ掲載する。

の増が見込まれる。具体的な視察、また観光のモデルコース（日帰り・宿泊等）は検討されているか。なお、過去10年の観光動態調査結果はグラフの通りだ。

質問 ペレット堆肥は通常の堆肥と比べて貯蔵容積が減少して運搬が容易なこと

町長 現在奥出雲仁多米と農業振興課で検討を進めている。製造コストや農家負担が少なくなるよう

ペレット堆肥



要害山山頂からの眺望

質問 「県史跡指定要害山三沢城跡」の景観整備について令和5年9月定例会において地元からの陳情を採択した。現在の山頂の景観は程遠

町長 今後、景観整備については一定のルールを作った上で整備していきたい。

要害山景観整備

い。今後の景観整備の計画は。